

重点項目	重要業績評価指標(KPI)	行動目標	行動計画
① 教学マネジメント (教育の質の向上)	○3つのポリシーの外部評価	○教育研究の目的	①教育研究の目的
		○3つのポリシー(DP:ディプロマ・ポリシー)	②3つのポリシーを点検・評価する体制整備と、教育課程に関する産業界・自治体との連携
	○GPA 実施状況(数値)	(CP:カリキュラム・ポリシー(AP:アドミッション・ポリシー)の明確化と実質化	①学修成果の調査・測定への導入や学修ポートフォリオの活用
			②大学全体としての共通の評価方針(アセスメント・ポリシー、アセスメントマップ)の確立
	○看護師、理学療法士、義肢装具士国家試験合格率	○カリキュラム・ポリシー(CP)に基づいた教育の質保証	①カリキュラム・マップ、カリキュラム・ツリーの実質化
	○管理栄養士、栄養士国家試験合格率		②ナンバリングの実質化
	○各学部学科、留年・退学率		③「教育効果を高める」「学生の成長を促す」教育を実現するための授業科目の再編・統廃合及び授業時間割の見直し並びに配置科目数の削減を含めた適正化 学修ニーズの把握
	○ダブルライセンス合格率 栄養教諭採用試験 など	○初年次教育と教養教育(リカレント教育)の再構築	④組織的な教育を実現するための仕組みの構築
			⑤成績評価の信頼性及び妥当性の確保 可視化 厳密化
			①全学リメディアル教育の導入と充実化
			②全学、共通 リカレント科目の整備＝コア科目 ③習熟度別クラス・少人数クラスの設定 国試
			④学習支援WGの充実(国試対策だけでなく、初年次も視野に)
			⑤入学前教育、フレッシュマンセミナー、基礎力養成などの順次的・体系的な実施
			⑥ピアサポート、チューデント・アシスタント(SA)等の質向上や活用
		○学生の能動的な学修を促すための取り組みと 教育力及び教育の質向上	①全科目のアクティブ・ラーニング型授業への転換と学外の組織と連携したアクティブ・ラーニング型授業の全学的な実施
		②SAIによるサポート体制の充実とピアサポートの拡充	
		③学生アンケートなどの有効活用 入学時アンケート	
		④シラバスの充実と記載内容のチェック体制の構築	
		⑤FD活動の充実、教育改革へ(教員・職員・学生が一体となった教育改善も) ⑥SDの実施計画の策定と実施	
		⑦教育研究施設の改善(学生と教員が集う空間の利用、整備と事前・事後学修を支援する環境の整備)	
		⑧デジタル、教育資材・材料の開発及びそれらを活用した授業の運営	
		⑨学生及び教職員のICT活用能力、遠隔授業開発・配信能力の向上	
	○成績の可視化	①「GPA」の実施に伴う、全学部・全学年を通じた成績の可視化を実施	
	○アセスメント・ポリシー アセスメント・マップ	①学生の学修成果の評価(アセスメント)の方針を設定(学生の学修成果の評価について、目的、達成すべき質的水準、評価の実施方法などについて定めた学内の方針	
	○ティーチング・ポートフォリオ	①教員が授業内容や教育指導の内容(業績)を蓄積するデータファイル化を実施。	
② 学生確保	○資料請求数	○接触者の増加	①オープンキャンパス参加者数増加と ※日程・回数の適正化
	○オープンキャンパス(OC)参加者数		②資料請求者数増加
	○入学志願者目標数(入試区分ごと)		③ガイダンス接触者数増加
	○合格者数		④進学説明会参加校数増加
	○合格辞退者数		⑤高校教員接触数増加(高校訪問、進学説明会等)
	○ガイダンス参加者数		⑥埼玉、東京、外志願者数増加 関東圏 ⇒全国への効率的な発信
	○アンケート返信者数		⑦本学HPの充実(PV増加)と受験サイト・OCサイトの早期公開 動画、HP、SNSの発信強化
	○高大接続 包括協定		⑧大学案内及び募集要項の充実と早期配布 フォローツール、DM
	○模擬授業数	○志願者及び入学者の増加	①大学ブランド力向上のためのマスメディア・SNS・ブログ等による広報強化
	○出前授業数		②オープンキャンパス充実(内容、学生スタッフの質向上)
	○バス見学数		③入試日程の設定(試験内容、出願期間、試験日、締切日)
			④意欲ある質の高い入学生確保に向けた奨学金制度の検討
			⑤入試の共通化と簡素化
			⑥入学前教育の充実と合格者へのアフターケア
			⑦非出願者・非入学者へのアンケート調査
		⑧既卒学生がいる高校への成果の積極的な発信	
		⑨学力の3要素を踏まえた多面的・総合的に評価する入学者選抜の実施	
		⑩多様な背景を持つ受験者を受け入れるための定員枠の設定	
		⑪入学者の追跡調査の実施と入試制度・広報への反映	
	○高大接続機能強化	※卒業生調査(卒業時、卒業後行動調査)	

重点項目	重要業績評価指標(KPI)	行動目標	行動計画
③ 学修支援	○担任制度の評価 ○オフィスアワー数値化	○担任教員、科目担当教員による支援	①担任制度
	○学生満足度調査による満足度率		②オフィスアワー
	○ボランティア、学外活動、サークル活動への参加率	○学生の成長を促す学生生活支援	①学生相談体制(心身両面)の整備・拡充(担任制度、保健室、キャンパス相談室)
	○SA・学内ワークスタディ・ピアサポート等の参加率		②1年次前期のサポート体制の強化(修学上の不安や悩み、精神的孤立の解消や居場所づくりの支援、学習支援WGの学修支援の検討)
			③障がいのある学生への支援体制の構築 ⑤自主的な学修を促す環境整備と快適な生活環境の整備
		○正課外活動の活性化	④奨学金制度の利用促進と学内ワークスタディ制度の確立
④ 研究体制	○アクティブ・ラーニング 支援	○授業の支援	①ボランティア等課外活動全般の活性化
	・心身健康科学・人間総合科学領域の		②学内諸活動に積極的に関わる学生数の増加
	・学際領域の		①研究成果の可視化促進
	○全学的な研究事業の各種補助金の採択件数	○研究成果の社会への発信強化	②機関リポジトリの活用
			③シンポジウム・研究会の開催
	○外部研究資金の獲得金額		④紀要の強化
	○科学研究費補助金申請率(代表・分担)・新規採択率	○研究活動の促進に向けた研究環境整備	①研究推進委員会の強化及び支援部局の整備 研究活動活性化に向けた個人研究費の見直し
	○受託研究・共同研究受入件数		②研究表彰制度 T&M財団
	○学内共同研究費の参加数		③補助金制度を活用した計画的な研究設備・施設の充実
	○論文、紀要への掲載著書の発刊、書籍への執筆、学会(国内外)等での発表 件数		④学内の教員間交流の推進による共同研究費制度の効果的な利用 ⑤全学的な研究事業の構築(心身健康科学に特化)
	○科学研究費補助金(外部研究資金)等の申請率	①外部資金の募集情報の提供、申請、執行、報告などの支援体制の整備	
⑤ 国際化推進	○国際交流プログラム(ベトナム・短期派遣)の拡充	○海外提携校・海外留学・海外研修の拡充によるグローバル人材の育成	①国際交流室と各学部の緊密な連携による短期留学プログラムの充実と新しいプログラムの開発を図る
	○短期留学(海外研修)の参加		②短期留学(海外研修)の参加への取組み促進
	○留学生の受入(留学生構成比率)		③留学生の募集(受入)事業、魅力ある医療人の育成教育内容及び生活支援の充実
		○短期留学・海外研修に参加しやすい環境の整備	①語学の自律的学習支援整備及び運営
			②外国語(英語)を医療、健康、食、栄養領域に特化した授業科目の開設
			③各種留学奨学金制度による海外留学の促進
	○海外提携校(東京健康科学大学ベトナムとの連携)強化	○グローバル人材(医療職)の育成の促進	①医療系人材(教職員)の交流(東京健康科学大学ベトナムと人間総合科学大学)
			②海外提携校との連携充実
			③Wディグリーなど、学位認定の調査・検証・実施計画の立案
		○心身健康科学の研究および事業の推進	④心身健康科学研究の国際化に伴う人材育成、人材交流
		①心身健康科学の日本・ベトナムの共同研究事業	
		②人間総合科学大学および心身健康科学に関する新規事業の展開	
		③東京健康科学大学ベトナム附属病院への事業支援(国際的な医療人材、心身健康科学研究の推進、教育のグローバル対応等)	
⑥ キャリア形成	○正規の[キャリア養成講座]参加学生数	○キャリア支援の強化	①インターンシップ制度の充実 企業との関係強化
	○国内インターンシップ参加者		②進路支援課・薬学学務課と学部との連携強化
	○海外インターンシップ参加者		③資格取得支援体制の強化と学生の参加者数の向上
	○学内企業セミナー参加企業数		④企業訪問、学内企業セミナーなどによる企業との接点強化
	○進路支援講座等(正課以外のキャリア講座)参加学生数		⑤留学生の進路支援の強化
	○就職先企業、医療機関との関係強化		

重点項目	重要業績評価指標(KPI)	行動目標	行動計画
⑦ 地域連携・産学官連携推進	○地域・産学連携プログラムの実践数	○地域・産学官連携・ネットワーク強化に関する方針	①地域・産学官連携・ネットワーク強化に関する全学的な基本方針の策定
	○ボランティア活動参加学生数		①定期的な協議会の実施
	○自治体、地域産業界、地域機関との包括協定数	○地域との連携協定	②全学的な地域連携科目の導入
	○公開講座開講数・受講生数		③学内外のボランティア活動の推進
			④関連団体(職能団体等)と連携した研修会・セミナーの開催
		○保護者との連携 情報提供	①保護者に対する情報提供の充実
	○卒業生との連携 情報提供	①卒業生に対する情報提供の充実	
	○社会人教育の拡充	①公開講座の充実 ②社会人・高齢者に学び直しの機会の提供	
⑧ 財政基盤の強化 (キャンパス整備計画含む)	○経常収支差額の改善	○財務基盤の強化	①中期財務計画の策定
	○寄付金獲得金額		②寄付金収入の拡大
	○教職員人事制度の見直し		③戦略的な補助金申請や外部研究資金の採択強化
	○教育組織の見直し及び再編		④経費支出の適切な見直し(業務の合理化・効率化、省エネルギー対策)
			⑤人件費の適正化(多様な雇用形態の導入、学部人件費の設定、人員構成の適正化)
			⑥学費・奨学金等の見直し
		○経営ガバナンスの強化	①理事会、評議員会、監事及び常任理事会の役割の明確化 ②機能の見直し
			③大学教学組織の見直しと意思決定、執行機能体制の強化
			④学長、副学長、学部長の目標管理と業績評価の導入
			⑤危機管理体制の強化
		○目標の実行化を支援するIR機能強化、	⑥IRと自己点検・評価の強化
			⑦事務組織体制の恒常的な教科
			⑧全学委員会のあり方の検討、クリーニング、強化
			⑨中期計画の推進と検証のための体制
			⑩中期計画に連動した事業計画 進捗状況の把握及び計画的な実施 中期計画工程表
		○社会のニーズに適応した教育組織の改革	①学部改組、大学院改組(新学部設置含む)などの新構想の立案
		○ダイバーシティの促進	①多様な人材が、成果を前提に活躍できる大学づくり
			②女性・若手教職員が、組織に貢献＝活躍できる環境整備
		○日本の人口減少化対応	①海外との互恵的提携 留学生の確保、Wディグリーなどによる学生確保
		○海外との共同研究による知財の獲得	①海外の大学・医療機関との共同 知財管理による事業展開
		○海外との共同事業	①東京健康科学大学ベトナム附属病院への事業支援(国際的な医療人材、心身健康科学研究の推進、教育のグローバル対応等)
	○ダイバーシティの促進	①学修環境や課外活動の制度・施設の充実	
		②快適な学内環境の充実	
		③キャンパスマスタープランの策定・見直し	
	○教員人事制度と事務職員人事制度の見直し	①多様な雇用形態の導入と見直し	
		②教職員の優れた取り組みを評価する人事考課制度の構築	
		③専任教員の学部別定数の決定	
		④業績評価制度の充実と給与制度の見直し	